

BLW

[RoHS指令対応品となります]



BLWシリーズ

- バヨネットロック機構を使用した屋外用防水コネクタ
- アンロック時のジャッキ効果により、コネクタの離脱力が低減
- 従来の表面処理とその方法を異にした特殊表面処理を採用

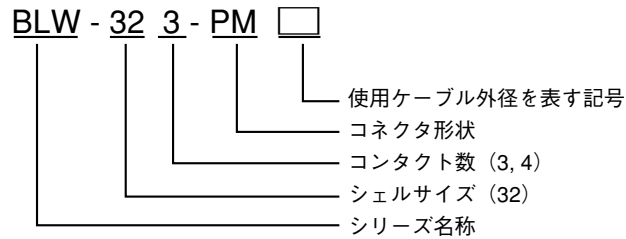
圧着コネクタ

(圧着タイプはお問い合わせください)

- BLW-323C
- BLW-324C

ケーブルアセンブリ(はんだ付け)を扱っております。
詳細は営業部(TEL.03-3319-0552)にお問い合わせください。

形名の構成



材質及び処理

| | 材 質 | 処 理 |
|-------|-------|--------|
| シ ェ ル | アルミ合金 | 特殊化学処理 |
| 絶 縁 体 | 合成樹脂 | ————— |
| コンタクト | 銅合金 | 銀めっき |
| パッキン | 合成ゴム | ————— |

使用温度範囲： -25℃～+60℃

電線接続方式： はんだづけ

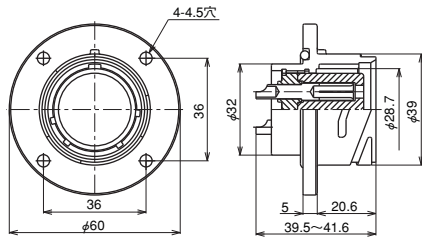
特性

- (絶縁抵抗) 最も近接する導体間を指定の電圧で測定した時、2,000MΩ以上である。
- (耐電圧) 最も近接する導体間に規定の電圧を1分間印加しても、短絡等の異常がない。
- (接触抵抗) 一对のコンタクトを正規の長さまで結合させた時の導体抵抗は、3mΩ以下である。
- (耐振性) 振動試験を行った時、機能上支障がなく、接触抵抗は3mΩ以下である。
- (衝撃) 衝撃試験を行った時、機能上支障がなく、接触抵抗は3mΩ以下である。
- (繰返し動作) 抜き差しを500回行った時、機能上支障がなく、接触抵抗は3mΩ以下である。
- (耐湿性) 湿度試験を行った時、機能上支障がなく、絶縁抵抗は10MΩ以上である。
- (温度サイクル) 温度サイクル試験を行った時、機能上支障がなく、絶縁抵抗は2,000MΩ以上である。
- (塩水噴霧) 塩水噴霧試験を行った時、機能上支障がなく、接触抵抗は3mΩ以下である。
- (防水性) 通常使用する状態で、水圧40kPa下に24時間放置した時、浸水の形跡がない。

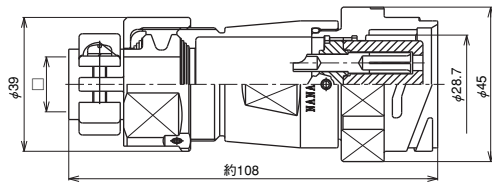
逆芯

メスコンタクト使用

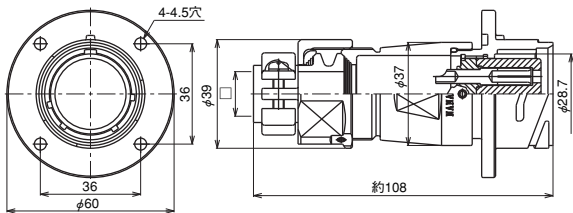
オスコンタクト使用



BLW-32*-RF



BLW-32*-AdF□



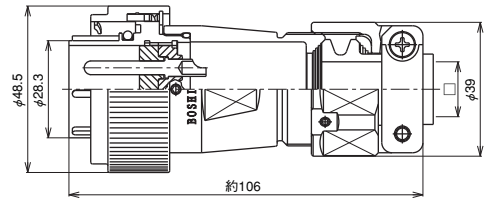
BLW-32*-Ad(F)F□

レセプタクル類

プラグ類

結合

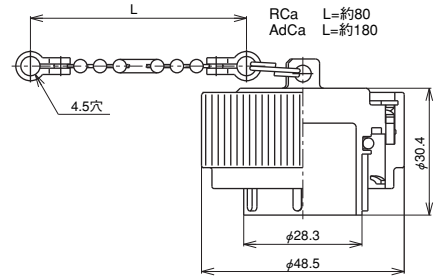
アダプタ類



BLW-32*-PM□

アクセサリ

レセプタクル用キャップ
(アダプタ用もかねる)



BLW-32-RCa
BLW-32-AdCa

| 記号□ | 使用ケーブル外径 |
|-----|---------------|
| 16 | φ 11.5~φ 16.0 |
| 20 | φ 15.5~φ 20.0 |

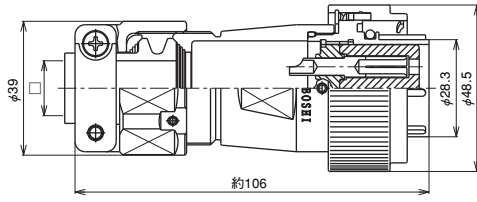
(ご注文の際は、使用ケーブル外径に適合する
記号をご記入下さい。(プラグ、アダプタのみ))

| ※コンタクト数 | 3 | 4 | | | | | | | |
|---------------------------------|----------|---|--|--|--|--|--|--|--|
| コンタクト配列 (ピンインサート 結合面から見て) | | | | | | | | | |
| 定 格 | 30A 250V | | | | | | | | |
| 耐電圧(V) | 2,000 | | | | | | | | |
| 電線導体断面積 (mm ²) | 5.5又は6 | | | | | | | | |

正芯

メスコンタクト使用

オスコンタクト使用

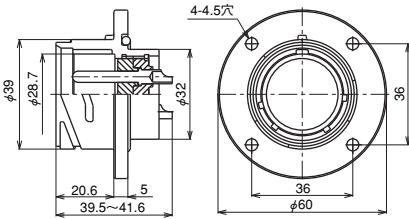


BLW-32※-PF□

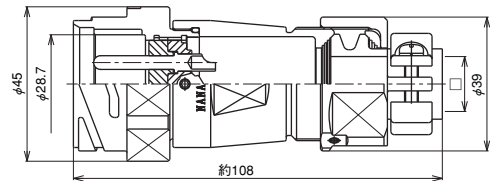
プラグ類

結合

レセプタクル類

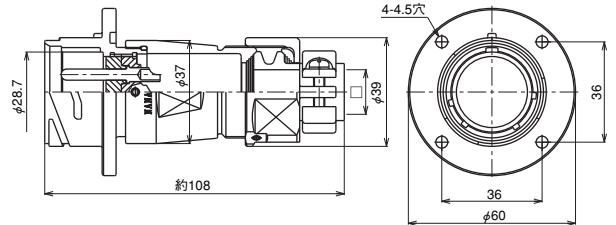


BLW-32※-RM



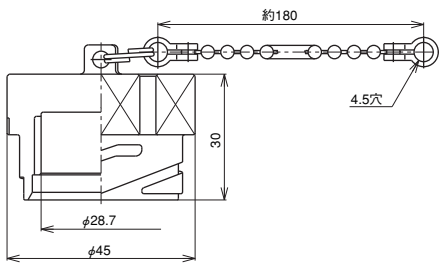
BLW-32※-AdM□

アダプタ類



BLW-32※-Ad(F)M□

プラグ用キャップ



BLW-32-PCa

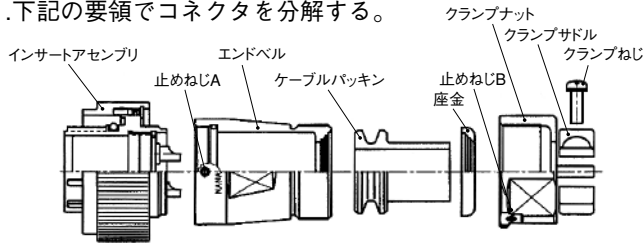
| 記号□ | 使用ケーブル外径 |
|-----|-----------------|
| 16 | φ 11.5 ~ φ 16.0 |
| 20 | φ 15.5 ~ φ 20.0 |

(ご注文の際は、使用ケーブル外径に適合する記号をご記入下さい。(プラグ、アダプタのみ))

| ※コンタクト数 | 3 | 4 | | | | | | | |
|---------------------------------|----------|---|--|--|--|--|--|--|--|
| コンタクト配列 (ピンインサート 結合面から見て) | | | | | | | | | |
| 定 格 | 30A 250V | | | | | | | | |
| 耐電圧(V) | 2,000 | | | | | | | | |
| 電線導体断面積 (mm ²) | 5.5又は6 | | | | | | | | |

BLW-32結線作業方法

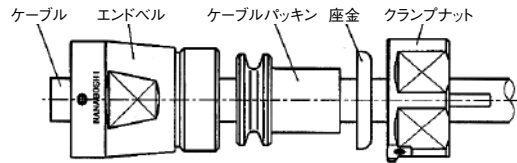
1.下記の要領でコネクタを分解する。



- ① 止めねじAを緩め、インサートアセンブリをエンドベルより外す（反時計方向に回す）
止めねじの六角レンジサイズ：1.5mm
- ② 止めねじBを緩め、クランプナットをエンドベルより外し、座金とケーブルパッキンを取り出す

2.分解した各部品を右図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えないようにすること



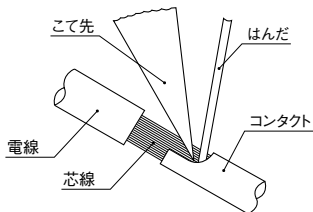
3.各使用ケーブルのシース及び電線を次ページの寸法で剥く。

4.端末処理を施したケーブルの芯線に予備はんだを施す。

注) 予備はんだは、ケーブルの被覆部まで行わないこと

注) 仕上がり状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラのないこと

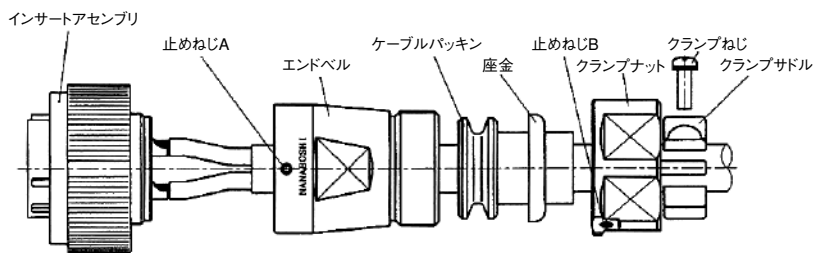
5.はんだづけ。



- ① コンタクトの溶剤ポットに予備はんだを施した芯線を差し込む
- ② コンタクトと芯線をはんだごてで加熱する
- ③ はんだを流し込みコンタクトと芯線のすき間を埋める

| 使用はんだごて | 導体断面積(mm ²) | こて先温度(℃) |
|---------|-------------------------|----------|
| 60W | 5.5, 6 | 370~400 |

6.下記の要領でコネクタを組み立てる。



注意：ケーブルパッキンをエンドベルに押し込む際は、ケーブルに傷を付けないよう慎重に行うこと

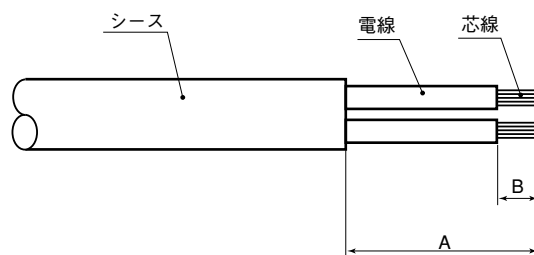
(※)



- ① インサートアセンブリを固定し、エンドベルを規定のトルク値で締付け、止めねじAで固定する
- ② エンドベル内にケーブルパッキンと座金を押し込み、エンドベルを固定し、クランプナットを規定のトルク値で締付ける（1分間に1回転以下の速度でねじ込むこと）
- ③ ケーブルを前後左右に動かしてなじませ(※)、再度規定のトルク値で締込み、止めねじBで固定する
- ④ クランプねじを規定のトルク値で締付ける

[単位：N・m]

| 締付け箇所 | トルク値 |
|------------------|---------|
| インサートアセンブリーエンドベル | 1.5~2.0 |
| エンドベルークランプナット | 2.5~3.0 |
| 止めねじA, B | 0.3~0.4 |
| クランプねじ | 0.6~0.8 |



| 品名 | A (mm) | B (mm) | 端子番号 | 導体断面積 (mm ²) |
|-------------------------------------|-----------|-----------|------|-----------------------------|
| BLW-323-PF,PM,AdM,AdF,Ad(F)M,Ad(F)F | 35 | 7 | 全極 | 5.5又は6 |
| BLW-324-PF,PM,AdM,AdF,Ad(F)M,Ad(F)F | | | | |